

# 1 2月の全校朝会

先週の金曜日、みんなで校庭の「落ち葉拾い」をしました。冬が近づくとこの時期は、毎年たくさんの落ち葉が木から落ちてきます。いつもは庁務手の村岡さんや柳田さん、そして土井教頭先生が手分けしてきれいにしてくれていますが、1人でするには、とても大変なお仕事です。そこで、毎年、この時期に、「落ち葉拾い」をして、みんなの力で落ち葉をきれいにしています。短い時間だったけれど、みんながんばったので、あっという間にきれいになりました。さすが泉小の子どもたちだなあと感じました。どうもありがとう。

泉小学校には今、586人の子どもがいます。では、1人が1枚ずつ落ち葉を拾ったら、全部で何枚の落ち葉を拾えるでしょうか？ そう、1人1枚だと、586枚の落ち葉が拾えます。1人が10枚ずつ拾ったら、5860枚。もし、みんなが100枚ずつ拾ったら、58600（五万八千六百）枚にもなります。1人でそれだけ集めるのは無理だけど、みんなでやれば集められるし、短い時間で校庭がきれいになります。

では、これを落ち葉ではなく、別のことでやったらどうなるでしょう？ みんなは、教室や廊下、階段にゴミやほこりが落ちているのを見たことがあると思います。では、それを、そうじの時間ではない時、休み時間などに拾ったことはありますか？ 586人が、目にしたゴミをそのままにせず、1日1つでも拾ったら？ 泉小学校は、ゴミやほこりのない、今よりもっときれいな学校になりそうです。

「いちにちいちぜん」という言葉があります。「善」とはよいこと。つまり、「一日一善」とは、1日に1回、よいことをするという意味です。ゴミ拾いだけではありません。例えば、「落とし物を拾ってあげる」「荷物を運んでいる人を手伝う」「元気がない友達に声をかける」など。小さなことでも1日1こ、人のため、みんなのためになることをしたら、泉小学校は、みんなのやさしさであふれたとてもすてきな学校になるはずです。

これは、みんなが今いる教室、クラスでも同じこと。クラスの一人一人が「一日一善」、1日に1つずつ、みんなのためになることをしたら。そして、それを毎日続けたら… そのクラスは絶対によいクラスになるでしょう。今のクラスもあと4か月です。みんなには、一人一人の力を合わせて、すてきなクラスを作りたいと思っています。

もし、あなたの近くで「一日一善」をしている人を見かけたら、「ありがとう」と声をかけたり、一緒に手伝ったりしてあげてください。ちょっとめんどくさいなと思っても、立ち止まってゴミを拾える人はカッコいいです。困っている人を見たら、声をかけたり、近くの先生に教えたり、そういうことができる人はとてもすてきです。もちろん、先生たちも応援します。

## 「一日一善」

今日から、何か1つ、小さくてもみんなのためになることをしてみてください。